

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ
研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。今回の研究では、患者さんのカルテ記録を使用します。研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用することにご理解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名	キュービックス®導入後における冷所薬品廃棄額の調査
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	薬剤部長 田中 守
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日
対象となる方	2019年8月1日～2023年10月31日までの間に高額な冷所薬品が投与されている患者さん
利用する試料・情報等	2019 年 8 月 1 日～2023 年 10 月 31 日までの間に高額な冷所薬品が投与されている患者さんの処方歴
研究の概要 (目的・方法)	近年、高額な医薬品が次々と上市されており、特にバイオ医薬品は冷所での保存が必要なが多くなっています。通常、冷所保存の医薬品は購入後に医薬品卸へ返品することができないため、使用期限切れによる廃棄のリスクがあります。当院では2019年8月より株式会社スズケンのトータルトレーサビリティシステムであるキュービックス®を導入しました。キュービックス®では購入後の冷所薬品の交換・返品が可能となり、使用期限切れによる廃棄の回避や、急配減少による医薬品卸への業務負担軽減効果が期待されます。そこで、高額な冷所薬品が投与された患者さんの処方歴を診療録（カルテ）の情報から調査することで、本システム導入によるこれらの効果を算出・検討することを目的としています。
個人情報の保護について	収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、保管される情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定です

	が、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ 先	愛媛大学医学部附属病院薬剤部 坂本 裕哉 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5732